



《現状把握》

「協同的な学び合い」の授業を推進して4年目となる。共有（身に付けたい基礎）の課題と発展的な課題を1単位時間の中に設定し、学力向上だけではなく、コミュニケーション能力の向上も目的としている。昨年度より全クラスにおいて机をコの字型配置にして、より「対話」をしやすい環境づくりを進めている。学習における知識・活用においては、この5年間で着実に向上している。

《授業改善のポイント》

「協同的な学び合い」の授業の質をさらに向上させるために以下の授業改善を継続する。

- 1 発展的な課題の質の向上…全校研修や学年研修において「生徒の興味・関心を高める課題であったか」「学び合いが行われたか」「一人一人の学びが保障されていたか」という点を中心として協議を行い、教師一人一人の授業力を向上させる。
- 2 明確な「ねらい」の設定、適正な評価方法、評価を授業に生かすことについて研修を進める。
- 3 ねらいを達成するための言語活動について工夫改善する。
- 4 放課後の補習教室を実施する。

《チャートの特徴》

昨年度と同様に、全体的にバランスのとれたチャートとなっている。コの字型の教室座席配置や4人組による「学びあい」活動が定着し、生徒の基礎的な力が身についてきた。今後も継続して、これらの取り組みを強く推進していく。

《家庭・地域への働きかけ》

家庭学習習慣の定着をねらいとして「家庭学習ノート」の取り組みをしている。また、学習方法の参考として「家庭学習のススメ」を発行して具体的な学習方法を伝えているとともに、学期末には今後の授業や家庭学習のポイントを明確に示している。